

第44期（平成28年度）事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

平成29年5月19日

一般社団法人 日本溶接材料工業会

目 次

第44期（平成28年度） 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1. 概況
 - ・ 事業報告
 - ・ 溶接材料の生産・出荷の状況
2. 会務報告
3. 理事会・委員会活動報告
 - ・ 理事会
 - ・ 統計委員会
 - ・ 技術調査委員会
 - ・ ホームページ運営委員会
4. 決算報告
 - ・ 貸借対照表
 - ・ 正味財産増減計算書
 - ・ 財務諸表に対する注記
 - ・ 財産目録
5. 備品管理状況（備品台帳写し）
6. 監査報告書 謄本

1. 概況（事業報告）

1. 経済環境の状況

平成28年度の国内経済は、雇用環境は改善しつつあるものの、企業の設備投資は力強さを欠き、個人消費も低調に推移した。

世界経済は、米国や欧州において緩やかな回復基調が継続した一方で、中国や東南アジア経済の一部は景気の成長鈍化傾向が継続する等、全体としては緩やかな成長に留まった。

特に原油安の継続や、米国での新政権の政策リスク、韓国での内需低迷や政権混乱、EU離脱問題やISテロ問題等先行きの不透明感は益々高まっており、こうした海外情勢が国内経済に与える影響も無視しえない状況にある。

2. 我が国溶接材料の平成28年度の状況 ()内は全て前年度比較

生産量は238,981ト（前年度比93.9%）、出荷量は242,385ト（95.8%）となった。出荷量では28年後半までは、前年を下回る状況で推移したが、29年前半になってやっと前年を上回る水準となってきた。品種別では、被覆アーク溶接棒は生産量28,286ト（87.8%）・出荷量29,965ト（94.5%）、ソリッドワイヤ（TIGワイヤを含む）は、生産量94,505ト（94.4%）・出荷量95,716ト（97.2%）、フラックス入りワイヤは、生産量86,763ト（96.1%）・出荷量87,208ト（96.4%）、サブマージ溶接用は、生産量29,412ト（92.2%）・出荷量29,482ト（91.0%）であった。全品種とも前年度比マイナスとなった。なお、平成28年度の国内出荷量を国内・外別にみると、国内向けは214,035ト（96.5%）、輸出向けは28,350ト（90.5%）で、これは工業会統計史上、過去最低の出荷量となった。一方、輸入量は68,126トで、前年度の68,602トに対し▲476ト（99.3%）と減少した。品種別では、フラックス入りワイヤは24,888ト（98.8%）、ソリッドワイヤは41,978ト（100.3%）、被覆アーク溶接棒は1,260ト（80.8%）であった。また国別では、韓国からの輸入量は43,466トで、前年度の46,614トから▲3,148ト減少したが、輸入量全体に占める比率は63.8%（対前年度80.4%）と高い水準を維持するものの、ここ数年の80%台から、28年度は60%台へとシェアは低下してきている。

3. 平成28年度（一社）日本溶接材料工業会の主要活動状況

1. 当工業会の活動は適正な運営を行い、理事会・各委員会ともコンプライアンスの遵守に努めた。
 2. 工業会の健全な財政基盤の確立に向けて第43期より起用した公認会計士事務所のもと、経理処理、決算報告の確認を会計士が行い、四半期毎の決算報告も継続した。
 3. 当工業会の基本活動である統計業務について、各種統計データの集計及び会員及び経産省等への資料提供、ホームページへのアップ等を行った。
 4. IIW/ISO国際会議への関係者の派遣（IIW—1回、ISO—2回）を日本溶接協会と連携して行った。また、溶接材料の需要先業種の技術動向に関する研究会、知的財産権の有効活用に関する勉強会、工業会としての「GHS対応方針」の溶接展望への掲載、国・地域別のSDSフォーマットへの対応、化学物質規制・環境課題に対する日本化学工業協会等からの情報収集と会員への提供を実施した。
 5. ホームページコンテンツの作成と充実および各種資料（事業報告・溶接展望・溶接材料出荷量分析報告・海外派遣調査団報告等）の公表を継続して行った。
 6. 平成29年度の事業計画として、第26回海外調査団を「ドイツエッセン溶接フェア2017」に平成29年9月に視察派遣することを決定した。
 7. 各委員会主催にて、技術動向やコンプライアンス等をテーマとした研究会、勉強会を開催した。
- 以上を含め、この他会員各社共通の利益と諸課題への対応について活発な活動を実施した。

1. 概況（溶接材料の生産・出荷の状況）

1. 平成28年度溶接材料の生産・出荷・在庫量推移（ト）

摘要	平成28年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産	19,710	20,478	20,987	19,464	18,493	20,913	19,878	18,227	19,867	20,708	20,731	19,420
出荷	19,919	20,121	20,771	18,924	19,078	20,679	19,500	19,528	20,562	19,926	20,574	20,763
在庫	20,749	21,106	21,322	21,862	21,277	21,511	21,889	20,588	19,893	20,675	20,832	19,489

摘要	平成29年		
	1月	2月	3月
生産	19,313	20,566	21,401
出荷	20,072	20,595	22,184
在庫	18,730	18,701	17,918

摘要	28年（暦年）	前年比	28年度	前年比
生産	238,876	92%	238,981	94%
出荷	240,345	93%	242,385	96%
在庫	19,489	93%	17,918	84%

2. 平成28年度溶接材料の品種別生産・出荷量推移（ト）

摘要		平成28年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
被覆アーク 溶接棒	生産	2,533	2,497	2,917	2,208	1,946	2,324	2,240	1,889	2,540	2,305	2,864	2,405
	出荷	2,500	2,507	2,670	2,313	2,338	2,447	2,349	2,493	2,627	2,299	2,721	2,522
ソリッド ワイヤ*	生産	7,896	8,416	8,368	7,898	7,546	8,145	8,071	6,908	7,791	8,447	8,089	7,528
	出荷	8,027	7,771	8,225	7,245	7,093	7,775	7,738	7,658	8,485	8,061	8,083	8,448
フラックス 入りワイヤ	生産	6,879	6,944	7,231	7,060	6,790	8,077	7,027	6,982	7,129	7,499	7,367	6,903
	出荷	7,227	7,038	7,241	7,136	7,462	7,772	6,940	7,046	6,943	7,039	7,275	7,115
サブマージ 溶接用材料	生産	2,401	2,617	2,470	2,294	2,211	2,366	2,539	2,447	2,407	2,456	2,410	2,582
	出荷	2,420	2,547	2,634	2,229	2,184	2,684	2,472	2,330	2,506	2,526	2,494	2,676

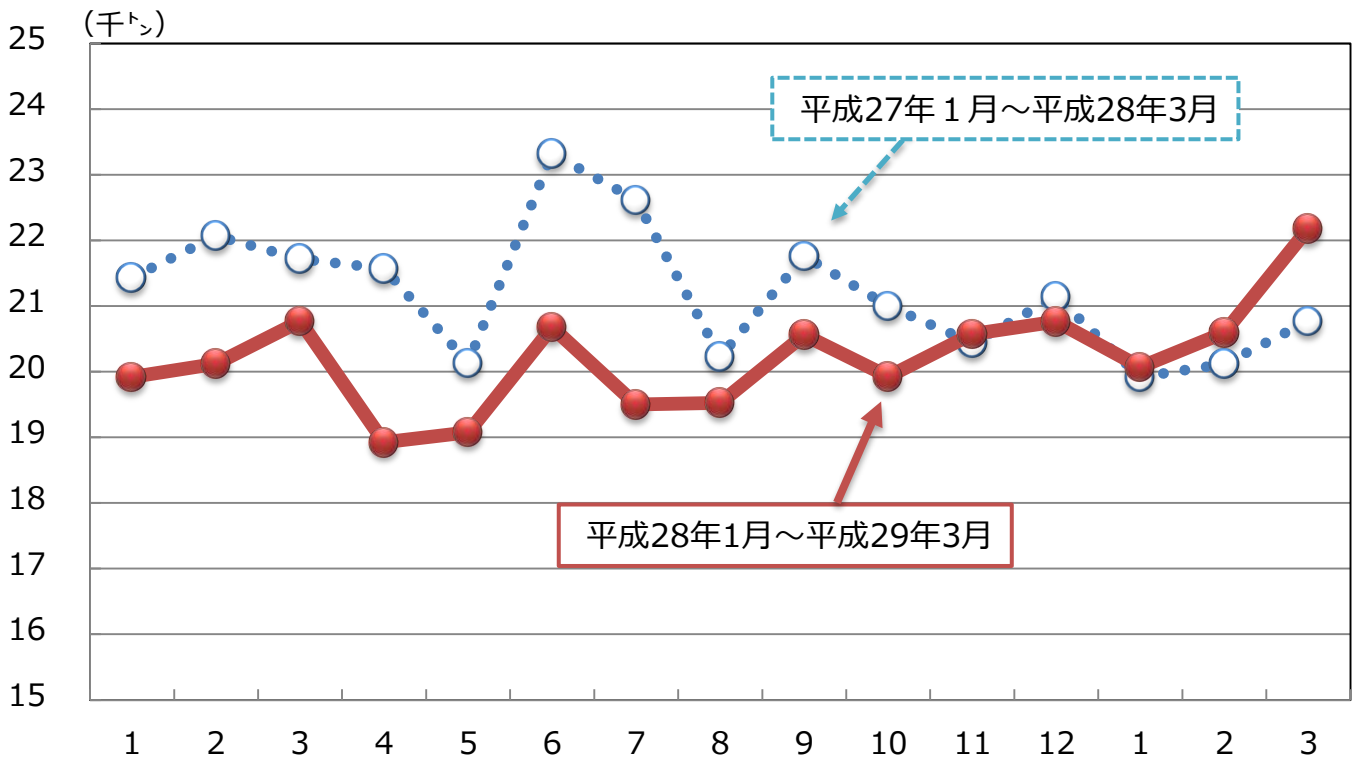
*ソリッドワイヤにはTIGワイヤ含む

摘要		平成29年		
		1月	2月	3月
被覆アーク 溶接棒	生産	2,355	2,720	2,490
	出荷	2,510	2,608	2,738
ソリッド ワイヤ*	生産	7,358	7,850	8,874
	出荷	7,548	8,349	9,233
フラックス 入りワイヤ	生産	7,112	7,223	7,594
	出荷	7,388	7,232	7,860
サブマージ 溶接用材料	生産	2,488	2,772	2,440
	出荷	2,624	2,405	2,352

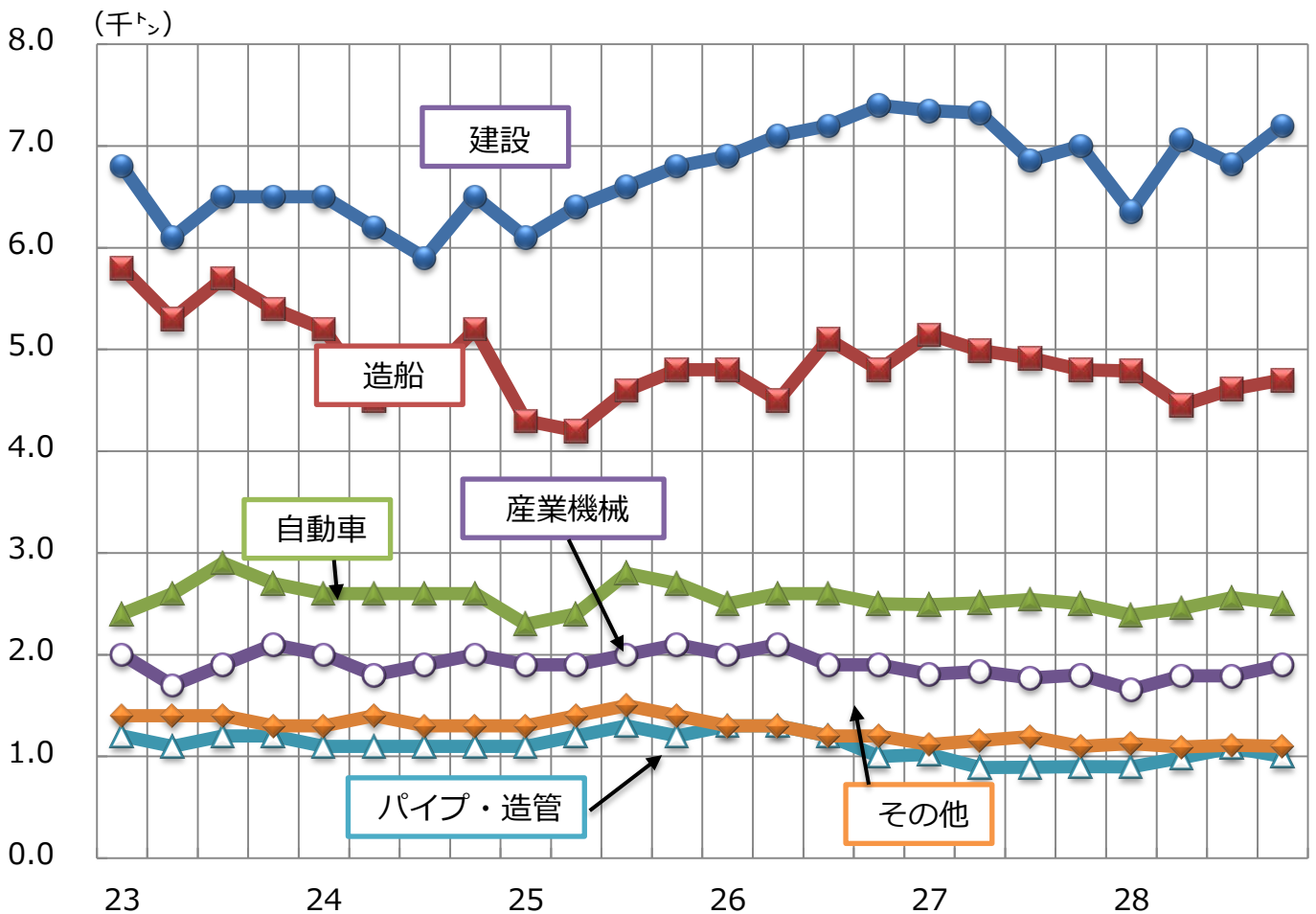
摘要		28年（暦年）	前年比	28年度	前年比
溶接棒	生産	28,668	88%	28,286	88%
	出荷	29,786	92%	29,965	94%
ソリ ッド	生産	95,103	94%	94,505	94%
	出荷	94,609	95%	95,716	97%
FCW	生産	85,888	94%	86,763	96%
	出荷	86,234	94%	87,208	96%
サブ マージ	生産	29,200	86%	29,412	92%
	出荷	29,702	88%	29,482	91%

*ソリッドワイヤにはTIGワイヤ含む

3. 平成28年度溶接材料出荷量推移（前年同期との比較）



4. 需要部門別溶接材料出荷量推移（四半期毎の月平均）



2.平成28年度 会 務 報 告

(場所の記載がないときは工業会)

月 日	委員会・会務名等	場所・時間	委員会議事録・会務内容
28年 4月18日	第1回 出荷量分析検討	14:00～ 工業会会議室(4F)	平成28年度出荷量分析原案の検討
4月19日	会計監査	10:00～ 工業会会議室(4F)	会計監査 梅山・山崎監事
4月25日	第1回 環境対応分科会	13:30～ 神戸製鋼所(株) 大阪支社	①前回議事録の確認 ②GHS表示の検討 ③SDS及び工業会のHPへの記載検討 ④関連団体の活動状況 ⑤関連文献・新聞記事などの紹介
4月25日	第2回 出荷量分析検討	15:00～ 工業会会議室(4F)	平成28年度出荷量分析 原案の検討
4月25日	システム機器整備	16:00～ 工業会(4F)	プリンターの入れ替え及びパソコンシステムとの接続
5月20日	臨時理事会	15:00～16:00	総会提出議案の確認等
	日本溶接材料工業会 平成27年度 定時総会	16:00～17:00 東海大学交友会館	①理事の選任、代表理事・副理事長選任の件 ②27年度事業報告及び決算承認の件 ③平成28年度事業計画及び予算案の件 ④議事録署名人選任の件 ⑤その他 報告事項
5月24日	溶接材料部会総会	16:00～ 溶接協会10F	①平成27年度事業報告及び承認の件 ②平成27年度決算報告承認の件 ③平成27年度部会役員改選の件 ④平成28年度予算承認の件
5月25日	第1回 統計委員会	15:00～ 工業会会議室(4F)	①平成27年度第4四半期の需要部門別出荷量調査について ②27年度出荷量調査について ③28年度事業計画・予算について ④HP掲載用統計データについて ⑤公正取引委員会からの調査協力依頼について
6月6日	第1回 技術調査委員会	14:00～17:00 工業会会議室(5F)	①前回議事録の確認 ②IIW中間報告 ③環境対応分科会の進捗状況 ④パックのAWS警告文の更新提案 ⑤新規活動プランの検討 ⑥28年度事業計画及び予算 ⑦委員の交代
6月14日	鉄鋼製品団体総会	15:00～ 鉄鋼会館	①平成27年度事業活動報告 ②平成27年度収支決算 ③余剰金の処分 ④平成28年度事業活動計画 ⑤規制改正・会費改訂 他

月 日	委員会・会務名等	場所・時間	委員会議事録・会務内容
6月23日	第3回 出荷量分析検討	10：00～ 工業会会議室(4F)	平成28年度出荷量分析 最終報告書の検討
7月4日	第1回 会計事務打合せ	13：00～ 工業会会議室(4F)	第1四半期 会計チェック
7月12日	第1回 理事会	16:00～ 工業会会議室（5F）	①理事長挨拶 ②理事の就任・退任・臨時総会の招集の発議 ③委員会委員の交代の件 ④第1 四半期決算報告書 ⑤議事録署名人の件 ⑥報告事項
7月25日	第2回 環境対応分科会	14：30～ 工業会会議室(4F)	①前回議事録確認 ②委員交代 ③28年度事業計画及び予算 ④日化協・化学品管理委員会情報 ⑤日化協欧州規制WG情報 ⑥日化協海外法WG情報 他
8月3日	ホームページ運営委員会	14：00～ 工業会会議室(4F)	①28年度事業計画・予算 ②HP運営委員会委員名簿 ③HPへの資料等掲載状況 ④情報公開資料のアップ 他
8月30日 ～ 8月31日	第2回 統計委員会	15：15～16：30 斑尾東急リゾート ホテルタングラム	①第1 四半期需要部門別出荷量調査について ②27年度出荷量分析について ③その他
9月6日	(一社) 溶接材料工業 業況ヒアリング	10：30～ 経産省金属課	①日本溶接材料工業会の活動状況報告 ②溶接材料工業会実施の統計調査説明
9月7日	下請企業の取引改善に する説明会	11：00～12：00 経産省7F会議室	下請け企業の取引改善に関する施策実施の説明
9月14日	日化協審議委員会	13：30～15：00 日化協AB会議室	①入会の件 ②運営委員会委員補欠委嘱の件 ③審議委員会委員補欠委嘱の件 ④平成28年度税制改正に関する要望の件
9月29日 ～ 9月30日	第2回 技術調査委員会	14：30～17：30 淡路夕なぎ荘 会議室	①前回議事録の確認 ②TC44SC3関連ISO規格案の作成状況 ③IIWメルボルン年次大会出席報告 ④環境対応分科会の進捗状況 ⑤パックの警告文の更新提案 ⑥JIS見直しに関するアンケート ⑦HP運営委員会活動状況 ⑧新規活動プラン検討 ⑨海外派遣調査団について 他
10月3日	鉄二健保50周年記念会	16：00～上野	50周年記念式典、功労者表彰等
10月12日	海外分科会	16：30～ 工業会会議室(4F)	29年度海外調査派遣について
10月13日	第2回 会計事務打合せ	13：30～ 工業会会議室(4F)	第2 四半期 会計チェック

月 日	委員会・会務名等	場所・時間	委員会議事録・会務内容
10月21日	山下金属課長訪問	9：20～ 経産省金属課	組織改正に伴う金属課長表敬訪問（会長）
10月27日	副理事長打合せ	13：30～ 工業会会議室(4F)	山下副理事長、菅原理事
10月28日	第3回 統計委員会	15：00～15：35 工業会会議室(4F)	①第2 四半期需要部門別出荷量調査について ②その他
10月28日	第2回 理事会 及び合同委員会 特別講演会	16：00～16：45 工業会会議室（5F） 16：15～17：15	①理事長挨拶 ②第2 四半期決算報告 ③溶接展望第113号編集案 ④報告事項 【特別講演】 講師：経産省金属課課長補佐 岡田 治氏 講演会「最近の鉄鋼業の動向」
11月2日	統計委員会 勉強会の打合わせ	16：00～ 経産省金属課	統計委員会 勉強会開催に関する打合せ 金属課 岡田補佐
11月8日	技術調査委員会 講演会の打合せ	15：00～ 工業会会議室(4F)	技術調査委員会講演会打合せ 内閣府 河村審議官
11月25日	(公益社団法人) 日本鉄筋継手協会	15：00～ 工業会会議室(4F)	鉄管継手用溶接ワイヤに関する検討依頼の要望について (専務理事 前澤澄夫氏 来室)
11月30日	第3回 環境対応分科会	14：30～ 工業会会議室	①日化協化学品管理委員会情報 ②日化協GHS-WG情報 ③日化協海外法WG情報 ④国内向けSDS付表の見直し ⑤メルマガ等の情報 その他
12月14日	第3回 技術調査委員会 特別講演会	13：00～16：30 工業会会議室（5F） 16：45～17：30	①前回議事録の確認 ②バックのAWS警告文の更新案内 ③ベルリン会議出席報告 ④JIS G3523の見直しに関するアンケート ⑤日本鉄筋継手協会からの依頼に関して ⑥「溶接展望」113号構成案 他 講師：内閣官房 国土強靱化推進室 河村正人審議官 「国土強靱化に向けた最近の取り組みについて」
12月19日	鉄鋼製品団体 施設見学会	14：00～ 日産横浜工場	施設概要の講義 工場見学
12月26日	正副理事長・幹事打合せ	18：00～	第3回理事会、29年度事業計画等について打合わせ
29年 1月13日	日本溶接材料工業会 賀詞交歓会	16：00～ 浜松町東京會館	①会長挨拶・日本溶接材料工業会 興石 房樹 会長 ②来賓挨拶・経済産業省金属技術室 坂元耕三 室長 ・日本溶接協会 栗飯原周二 会長 ③乾 杯 ・日本溶接材料工業会 木村 寛 副会長 ④中締挨拶・日本ワイルディング・ロッド(株) 山崎 達彦 会長
1月16日	講演会打合せ	13：30～ 特許庁	技術調査委員会講演会打合せ
1月17日	システム機器点検・整備	10:00～	コピー機器及びシステム回線点検（大塚商会）
1月27日	第3回 会計事務打合せ	11：00～ 工業会会議室	第3四半期 会計チェック

月 日	委員会・会務名等	場所・時間	委員会議事録・会務内容
1月30日	鉄鋼製品団体研修会	15:00~16:00 鉄鋼会館804会議室	①会員団体からの近況報告 ②講演会 講師：岡田金属課課長補佐
2月10日	第4回 技術調査委員会 特別講演会	14:00~16:15 工業会会議室 (5F) 16:30~17:30	①前回議事録の確認 ②パッキのAWS警告文の更新提案 ③溶接ISO及びJIS企画化の進捗確認 ④環境対応分科会の活動状況 他 講師：特許庁普及支援課産業財産専門官 高田 龍哉 氏 「経営に生かす知的財産」
2月16日	正副理事長・幹事打合	9:00~ 工業会会議室	理事会審議事項及び懸案事項についての打合わせ
2月17日	第4回 統計委員会 特別講演会	15:00~16:00 工業会会議室 16:15~17:20	①28年度第3四半期の需要部門別出荷量調査について ②28年度事業報告と29年度事業計画・予算 ③28年度溶接材料出荷量分析について ④29年度統計委員会の開催日程について 講師：経済産業局産業組織課競争環境整備室 調査員 藤猪 純子氏 「競争法コンプライアンス体制に関する研究報告」
2月27日	理事長打合せ	10:00~ 工業会会議室	理事会審議事項の確認打合わせ
2月28日	第4回 環境対応委員会	14:00~16:00 工業会会議室	①前回議事録の確認 ②日化協化学品管理委員会情報 ③日化協GHS-WG情報 ④日化協海外法WG情報 ⑤国内向けSDS付表の見直し ⑥メルマガ等の情報 他
3月3日	中小会館内防災説明会	14:00~ 全国中小会館 (5F)	①館内防災対策の説明 ②防災訓練の実施 (日本橋消防署)
3月10日	第3回 理事会	16:00~ 工業会会議室 (5F)	①平成28年度第 3四半期決算報告、 及び第44期決算見込みについて ②理事会 平成28年度事業報告と29年度事業計画 ③各委員会 平成28年度事業報告と29年度事業計画 ④平成29年度予算について ⑤監事の交代について ⑥臨時総会召集の発議について ⑦専務理事の任期延長及び関連規則改正について ⑧議事録署名人の選任
3月15日	日化協審議委員会	13:00~15:00 化学団体会議室	①入会の件 ②平成29年度事業計画案について ③平成29年度予算案について ④第26回定時総会議事次第等について

3. 理事会・委員会活動報告

1. 理事会

- (1) 工業会活動の適正な運営及びコンプライアンスの遵守
- (2) 各種統計の整備に関する検討
- (3) 技術・国際規格・環境面における技術的課題の検討
- (4) 健全な財政運用実現に向けた工業会活動、経費のあり方の検討
(経理と決算業務の適正化)
- (5) 第26回海外調査団のドイツエッセン溶接フェア2017への派遣決定
(海外分科会での海外調査団派遣の検討、積立金の継続)
- (6) 総会、新年賀詞交歓会、理事会・委員会との合同委員会の開催
- (7) (一社)日本溶接材料工業会 会報「溶接展望」の発行(年2回)
- (8) 工業会ホームページの運営に関わる支援
- (9) 平成29年度 予算及び事業計画案の策定
- (10) 経済産業省 金属課による「最近の鉄鋼業の動向」等講演会の実施
- (11) 工業会専務理事、職員に関わる制度の見直し
- (12) 関連団体との連携および情報収集
- (13) 関係官庁への対応と調整
- (14) その他業界団体の諸問題への対応

2. 統計委員会

- (1) 溶接材料の生産・出荷・在庫・輸出に関する統計の作成および整備
輸出・輸入統計での国別項目順への整理と平成28年度からの採用
- (2) 平成28年度 溶接材料に関する出荷量分析の作成・公表(平成28年6月)
- (3) 需要部門別溶接材料出荷量調査の実施(4半期毎)
- (4) 溶接材料地域別出荷量調査の実施(4半期毎)
- (5) 溶接材料流通在庫調査の実施(4半期毎)
- (6) 会報「溶接展望(112号)」へ「平成27年度溶接材料出荷量分析(概要)」を掲載
- (7) 工業会ホームページに掲載する統計データの作成・公表
- (8) 経産省等関係官庁への各種統計に関する協力
- (9) コンプライアンス関連の勉強会の開催
- (10) 平成29年度 事業計画案の検討および策定

3. 技術調査委員会

(1) 国際規格の内容検討及び修正案の提起

- ・ 日本溶接協会と連携し、IIW及びISO国際会議へ関係者の派遣 (IIW-1回/メルボルン、ISO/TC44/SC3-2回/ベルリン等)
- ・ 溶接材料のISO国際規格改正と作成への対応

(2) 環境対応分科会

- ・ 法令・規格の変更に伴い、国・地域別のSDSフォーマットの見直し
- ・ 日本化学工業協会「化学品管理委員会」、「海外法WG」・「GHS-WG」への委員参加
- ・ 国内外の化学物質規制、環境課題に関する情報収集および提供
- ・ 平成28年6月1日改正の労働安全衛生法施行令及び労働安全衛生規則に伴う、GHS表示義務の拡大および表示ルールの変更への工業会としての対応方針のとりまとめと、会報「溶接展望 (112号)」と工業会ホームページへの掲載

(3) 需要業種別産業や品質管理の将来動向に関する研究会の開催

- ・ 溶接に関わる主要業界の将来技術動向についての研究会の開催 (12月14日)
テーマ：国土強靱化に向けた最近の取り組みについて
講師：内閣官房 国土強靱化室 審議官 河村 正人氏
- ・ 溶接および溶接材料に関する知的所有権に関する勉強会の開催 (2月12日)
テーマ：:経営に活かす知的財産
講師：特許庁 総務部 普及支援課 産業財産権専門官 高田 龍弥氏

(4) 会員各社の共通利益を目指した新規テーマ等の検討

- ・ 平成29年度計画の「ドイツエッセン溶接フェア2017」への海外調査団の調査アドバイス

(5) 工業会ホームページへの支援

- ・ ホームページ運営委員会と連携し、環境分科会策定のGHS表示対応方針の検討と工業会ホームページへの掲載

(6) 会報「溶接展望」への技術レポートの投稿掲載

- ・ 「溶接展望 112号」に技術レポートの投稿掲載
テーマ：「造船業と溶接技術の変遷」 技術調査委員長 清水 弘之

(7) 平成29年度 事業計画案の検討

(8) その他

- ・ 日本鉄筋継手協会からの鉄筋継手溶接用ソリッドワイヤの偽装防止への協力に対する対応案の検討
- ・ 日本規格協会からの現行JIS規格の改廃調査依頼 (5年毎実施) に対し、工業会として著作権を保有する日本工業規格JIS G3523追補1の規格維持

4. ホームページ運営委員会

(1) 会員向け諸案内の掲示と、工業会作成の資料や刊行物の公表と更新

(2) 工業会概要等 (事業報告、決算等) のホームページ掲載による事業活動内容の公表

(3) ホームページ全般 (一般向け・会員向け) について、掲載内容の充実

(4) 会員共通の課題に関する情報の発信

4. 決算報告

第44期（平成28年度）決算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

平成29年5月19日

一般社団法人 日本溶接材料工業会

貸借対照表

平成29年3月31日現在

一般社団法人 日本溶接材料工業会

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1.流動資産			
現金	8,335	23,748	△ 15,413
預金	20,009,664	17,180,740	2,828,924
流動資産合計	20,017,999	17,204,488	2,813,511
2.固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
海外派遣調査積立金	2,000,000	1,000,000	1,000,000
退職給与引当預金	2,846,078	2,546,078	300,000
特定資産合計	4,846,078	3,546,078	1,300,000
(3) その他固定資産			
敷金・保証金	2,307,240	2,307,240	0
その他固定資産合計	2,307,240	2,307,240	0
固定資産合計	7,153,318	5,853,318	1,300,000
資産計	27,171,317	23,057,806	4,113,511
II. 負債の部			
1.流動負債			
預り金	12,252	0	12,252
流動負債合計	12,252	0	12,252
2.固定負債			
退職給与引当金	2,846,078	2,546,078	300,000
固定負債合計	2,846,078	2,546,078	300,000
負債合計	2,858,330	2,546,078	312,252
III. 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	24,312,987	20,511,728	3,801,259
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
正味財産合計	24,312,987	20,511,728	3,801,259
負債および正味財産合計	27,171,317	23,057,806	4,113,511

第44期（平成28年度）正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

一般社団法人 日本溶接材料工業会

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	21,791,000	22,121,000	△ 330,000
計	21,791,000	22,121,000	△ 330,000
事業収益			
例会臨時収益	120,000	140,000	△ 20,000
理事会臨時収益	100,000	140,000	△ 40,000
統計委員会臨時収益	120,000	135,000	△ 15,000
技術調査委員会臨時収益	165,000	175,000	△ 10,000
海外派遣臨時収益	0	1,530,000	△ 1,530,000
計	505,000	2,120,000	△ 1,615,000
雑収益			
受取利息	2,452	4,084	△ 1,632
雑収益	3,673	1,995	1,678
計	6,125	6,079	46
経常収益計	22,302,125	24,247,079	△ 1,944,954
(2) 経常費用			
事業費			
總會費	464,424	476,190	△ 11,766
總會例会費	448,990	492,078	△ 43,088
新年賀詞交歓会費	1,122,661	879,344	243,317
理事会費	745,072	774,719	△ 29,647
統計委員会費	346,853	358,926	△ 12,073
技術調査委員会費	818,311	935,437	△ 117,126
輸入原材料調達分科会費	0	0	0
海外分科会費	23,100	0	23,100
専門分科会費	86,643	95,187	△ 8,544
会報発行費	166,320	196,560	△ 30,240
海外派遣費	0	3,078,098	△ 3,078,098
IIW/ISO派遣費	571,938	444,092	127,846
ISO/TC44/SC3日本開催費	0	167,000	△ 167,000
ホームページ運営費	128,413	242,053	△ 113,640
特別行事関連費	0	0	0
計	4,922,725	8,139,684	△ 3,216,959
管理費			
事務所賃借料・光熱費	4,402,026	4,397,739	4,287
動産賃借料費	269,568	269,568	0
消耗品費	182,790	95,974	86,816
印刷費	97,057	146,068	△ 49,011
通信運搬費	137,576	146,781	△ 9,205

科目	当年度	前年度	増減
旅費交通費	542,240	495,890	46,350
新聞図書費	79,403	78,221	1,182
団体費	52,540	39,500	13,040
渉外費	70,888	89,253	△ 18,365
雑費	257,579	299,566	△ 41,987
業務委託料	329,600	97,200	232,400
システム改善・運営費	115,220	230,611	△ 115,391
給与手当	6,005,100	6,014,300	△ 9,200
福利厚生費	634,754	315,358	319,396
退職給付費用	300,000	300,000	0
租税公課	101,800	22,500	79,300
予備費	0	0	0
計	13,578,141	13,038,529	539,612
経常費用計	18,500,866	21,178,213	△ 2,677,347
当期経常増減額	3,801,259	3,068,866	732,393
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,801,259	3,068,866	732,393
一般正味財産期首残高	20,511,728	17,442,862	3,068,866
一般正味財産期末残高	24,312,987	20,511,728	3,801,259
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	24,312,987	20,511,728	3,801,259

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給与引当金 期末退職要支給額を見積り、貸借対照表の負債の部に計上している。
引当金の増減額およびその残高は次の通りである。

勘定科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給与引当金	2,546,078	300,000	0	2,846,078

2. 特定資産の増減額およびその残高は次の通りである。

勘定科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
特定資産				
海外派遣調査積立金	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
退職給与引当預金	2,546,078	300,000	0	2,846,078
小計	3,546,078	1,300,000	0	4,846,078
合計	3,546,078	1,300,000	0	4,846,078

3. 特定資産の財源の内訳は次の通りである。

勘定科目	期末残高	うち指定正味財 産からの充当額	うち一般正味財 産からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
海外派遣調査積立金	2,000,000	0	2,000,000	0
退職給与引当預金	2,846,078	0	0	2,846,078
小計	4,846,078	0	2,000,000	2,846,078
合計	4,846,078	0	2,000,000	2,846,078

付属明細書

1. 基本財産および特定資産の明細

基本財産および特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2.に記載している。

2. 引当金の明細

引当金の明細については、財務諸表に対する注記1. (1)に記載している。

財産目録

平成29年3月31日現在

一般社団法人 日本溶接材料工業会
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			
現金および預金			
	現金手許有高	運転資金	8,335
	普通預金 りそな銀行 秋葉原支店0763453	同上	4,268,329
	定期預金 りそな銀行 秋葉原支店3710770	同上	2,000,000
	普通預金 三菱東京UFJ銀行 日本橋中央支店022819	同上	4,652,435
	定期預金 三菱東京UFJ銀行 日本橋中央支店0064911	同上	5,000,000
	普通預金 千葉銀行 秋葉原支店3296252	同上	88,900
	定期預金 千葉銀行 秋葉原支店3296252	同上	4,000,000
計			20,017,999
流動資産計			20,017,999
(固定資産)			
特定資産			
海外派遣調査積立金	普通預金 千葉銀行 秋葉原支店3296252	海外派遣調査に対する積立資産	2,000,000
退職給与引当預金	定期預金 りそな銀行 秋葉原支店3725964	退職給与引当金に対する積立資産	2,846,078
計			4,846,078
その他固定資産			0
敷金・保証金	全国中小企業会館 借用保証金		2,307,240
計			2,307,240
固定資産計			7,153,318
資産計			27,171,317
(流動負債)			
未払金			0
前受金			0
預り金			12,252
未払い消費税			0
流動負債計			12,252
(固定負債)			
退職給与引当金	期末退職金要支給額	役員の退職金に備えたもの	2,846,078
固定負債計			2,846,078
負債合計			2,858,330
正味財産			24,312,987

5. 備品管理状況（備品台帳写し）

平成29年3月31日現在

No.	品名	数量	備考
1	鋼製書類保管庫 大	6	
2	鋼製書類保管庫 小	5	
3	鋼製雑誌棚	1	
4	鋼製三連ロッカー	1	
5	会議用テーブル	3	
6	会議用回転椅子	15	
7	折りたたみ椅子	5	
8	黒板（移動式）	1	
9	木製帽子掛け	1	
10	スライドハンガー	1	
11	鋼製両袖事務机	1	
12	鋼製片袖事務机	2	
13	事務用椅子	3	
14	電話加入権・電話器	2	03-6661-9974、03-6661-9984
15	手提げ金庫 大	1	
16	手提げ金庫 小	1	
17	電気冷蔵庫	1	ナショナル製
18	食器棚	1	
19	テープレコーダー	1	ナショナル製
20	カメラ	1	ミノルタ製
21	パソコンラック	1	
22	パソコンチェアー	1	
23	簡易MSシュレッター	1	明光商会製
24	デスクトップ型パソコン （三菱RDT222WLM液晶モニター付）	1	ヒューレットパッカー製（DesktopPC）
25	コピーボード（電子黒板）	1	PLUS製BF-041S
26	プロジェクター	1	EPSON製EMP-X5
27	ノートブック型パソコン （外付けFDD含む）	1	HP製Compaq 6730s/CT
28	HD（セキュリティー対応）	1	IO DATA HDPS-U
29	HD（セキュリティー対応）	1	バッファローHD-PCT500U2-BK
30	デスクトップ型パソコン （レノボ21.5型モニター付）	1	レノボレノボH30-50
31	レーザープリンター	1	EPSON製 LP-S3250Z

* NEC PC-M Y 25XLZJP JBGデスク型パソコンをHP製デスクトップPCに入れ替え（平成26年6月）

* 富士通FMVDH 5 4/Dディスク型パソコンをレノボ製デスクトップPCに入れ替え（平成28年2月）

* EPSON製LP-9100NプリンターをEPSON製LP-S3250Zプリンターに入れ替え（平成28年3月）

* ナショナル製RQ-218テープレコーダーをソニー製（CDF-S51）に入れ替える（平成29年3月）

* MSシュレッターの機能アップ（MSQ-61MCMへ入れ替え）（平成28年3月）

6. 監査報告書 謄本

監 査 報 告 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第44期事業年度における事業活動状況について、監査致しました。その結果につき、以下のとおり報告致します。

1. 監事の監査の方法及びその内容

監事は、代表理事、専務理事、理事などと意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会に出席して事業活動状況について報告を受け、必要に応じて説明を求める等、業務及び財産の状況を調査致しました。

さらに、理事会をはじめとする各委員会議事録、会計帳簿又はこれに関する資料等の確認等を行い、当事業年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財務諸表に対する注記、財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告書の内容は、適正であることを認めます。

また、事業活動状況についても指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書等の監査の結果

計算書類及び財務諸表に対する注記、財産目録については、適正に処理されており正確妥当なものと認めます。

平成29年4月21日

一般社団法人 日本溶接材料工業会

監事 三島 隆平 ㊟

監事 山崎 秀介 ㊟